

福島県政150周年、そして東日本大震災から15年。

持続可能なモノづくり研究交流会

～震災から15年。福島で学ぶ、レジリエンス経営と未来づくりの現場～

◇震災から15年の歩みを現地で学ぶ

東日本大震災と原子力災害の記憶、復興への挑戦、そして未来への教訓を、当事者の視点と現場から学びます。

◇復興を支える社会システムと産業再生を体感する

環境回復、地域再生、企業進出、人材確保など、福島復興を支える仕組みを実際の現場で見て学びます。

◇技術・イノベーションによる未来づくりを考える

最先端技術や新たな産業創出の現場を訪れ、これからのものづくりと地域創生の可能性を探ります。

日　程　2027年　1月20日(水) ～21日(木)

対　象　生産技術、生産管理、調達、物流、改善推進などの担当者
経営管理、経営企画、SCM、BCPなどの担当者

定員 20名

訪問先

① 東日本大震災・原子力災害伝承館
記憶を未来へつなぐ。防災・減災とレジリエンスを学ぶ

② 中間貯蔵施設
環境回復と社会課題解決の最前線を知る

③ 浅野撚糸㈱　フタバスーパーゼロミル
双葉から世界へ。復興が生む「軌跡」を体感する

④ 曾澤高圧コンクリート㈱　福島RDM2センター生産棟
人と人、テクノロジーとテクノロジーを結び、未来を「開発」する

災害からの復興事例から企業活動＆モノづくりの持続的な活動を考える

コーディネータ

福島大学
共生システム理工学類　情報理工学コース
准教授　筧　宗徳 先生

専門分野

・経営工学、教育工学
・現場改善(製造、物流、小売り、医療、介護)



スケジュール(予定)

２０２７年１月２０日(水)	
09:50 10:00	集合（ＪＲ郡山駅） ＊集合後、バスにて移動
11:30	双葉町産業交流センター　着 昼食 ＊終了後、徒歩にて移動
12:30 14:00	東日本大震災・原子力災害伝承館　見学 ＊終了後、バスにて移動
14:30 17:00	中間貯蔵施設　見学 ・概要紹介、施設見学、意見交換会 ＊終了後、バスにて移動
18:00	ホテル（FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA）着 ＊チェックイン
18:30 19:30	地域関係者との意見交換会 ＊夕食交流会
21:00	解散

２０２７年１月２１日(木)	
08:45 08:50	集合（ホテルロビー） ＊集合後、バスにて移動
09:00	浅野撚糸㈱　フタバスーパーゼロミル　見学 ・会社概要、取り組みの紹介 ・現場見学 ・参加者同士の意見交換会 ・意見交換会発表＆総合質疑応答
12:00 12:45	昼食（工場内：KEY'S CAFE 福島 双葉） ＊終了後、バスにて移動
13:00 16:30	曾澤高圧コンクリート㈱ 福島RDM² センター生産棟　見学 ・会社概要、取り組みの紹介 ・現場見学 ・参加者同士の意見交換会 ・意見交換会発表＆総合質疑応答 ＊終了後、バスにて移動
19:00	解散（ＪＲ郡山駅）

東日本大震災・原子力災害伝承館（福島県）



2011年の東日本大震災と原子力災害その後の復興プロセスを体系的に学べる施設です。被災の実態だけでなく、避難、復旧、復興における意思決定や組織間連携、人々の行動変容など、多くのマネジメント課題が凝縮されています。震災から15年を経た今、福島は何を教訓として蓄積し、どのように未来へ継承しようとしているのか。防災・減災はもちろん、危機管理、組織マネジメント、レジリエンス経営を考える上でも示唆に富むフィールドです。技術者・経営者にとって、自らの組織運営を見つめ直す貴重な学びの機会となります。

浅野撚糸㈱　フタバスーパーゼロミル



人口ゼロとなった双葉町への進出を決断した企業による、復興と産業創出の象徴的プロジェクトです。特許技術「SUPER ZERO®」を活用したものづくりの現場に加え、なぜ被災地に新工場を建設したのか、その経営判断や事業戦略にも触れます。新たな雇用創出、人材育成、地域との共創など、企業が地域再生に果たす役割を学ぶことができます。逆境の中から新たな価値を生み出す挑戦は、IE・経営工学における生産革新や事業再構築の実践例そのものです。復興を「守り」ではなく「攻め」の経営で実現する姿をご覧いただきます。

中間貯蔵施設（環境省）



福島県内の除染で発生した膨大な土壌や廃棄物を安全かつ効率的に管理する国家的プロジェクトです。物流管理、リスクマネジメント、環境モニタリング、長期計画策定など、大規模社会システムの設計・運営そのものと言えます。現場では、膨大なデータに基づく安全管理や工程管理が実践されており、IEや経営工学の視点から見ても極めて興味深い事例です。復興の象徴であると同時に、日本が直面する長期的課題への挑戦でもあります。社会課題の解決に技術とマネジメントがどのように活用されているのかを体感いただきます。

曾澤高圧コンクリート㈱　福島RDM²センター生産棟



浪江町に誕生した研究・開発・生産・事業化を一体で進める最先端のイノベーション拠点です。自己治癒コンクリート、蓄電コンクリート、コンクリート3Dプリンター、産業用ドローンなど、社会課題の解決を目指す技術開発が進められています。特に注目すべきは、研究(Research)から事業化(Marketing)までを一体化したRDM²という構想です。異分野連携とオープンイノベーションを通じて新たな価値を創出する仕組みは、これからの製造業や技術経営を考える上で大きな示唆を与えてくれます。復興の地から生まれる未来産業の最前線を体感いただきます。

参加費：110,000円

※ 1名様分／消費税、宿泊費、食事代、交流会費、バス代、などを含みます。

※ 集合・解散場所までの交通費は、ご負担ください。

申込方法

ホームページからお申込みください。

未来響創®
IEで拓くモノづくりとサービスの新たな価値

日本インダストリアル・エンジニアリング協会
〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12
TEL 03-3511-4062　FAX 03-3511-4069
E-mail jiie@j-ie.com　https://www.j-ie.com/

担当　菅野、田嶋